



— 祈りが紡ぐ物語 —

曼茶羅 當麻 中将 姫 と



貞享本當麻曼茶羅
修理完成記念 特別展

2022

7/16(土) ~ 8/28(日)



奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

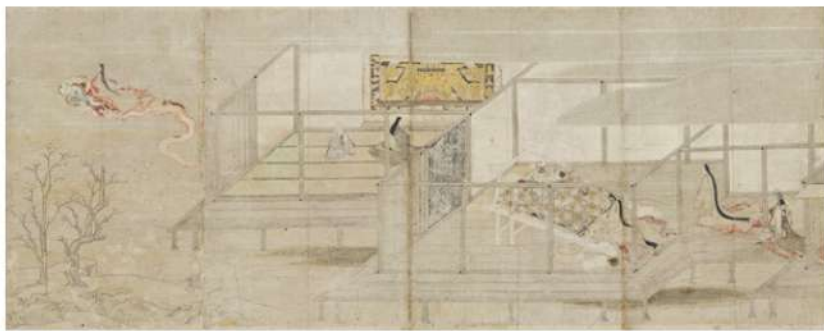
- 休館日：毎週月曜日(ただし、7月18日[月・祝]・8月15日[月]は開館)、7月19日[火]
- 開館時間：午前9時30分～午後6時(毎週土曜日は午後7時まで)
- ※ 入館は閉館の30分前まで。
- ※ 名品展(なら仏像館・青銅器館)とは休館日・開館時間が異なります。
- また、会期・開館時間等は今後の諸事情により変更する場合があります。
- 詳しくは奈良国立博物館公式ホームページをご覧ください。

[主催] 奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社、NHK奈良放送局

[協賛] 清水建設、大和ハウス工業

[協力] 日本香堂、仏教美術協会 [問い合わせ] 050-5542-8600 (ハローダイヤル)





国宝 当麻曼荼羅縁起 下巻（部分）神奈川・光明寺蔵



国宝 当麻曼荼羅厨子扉 奈良・当麻寺蔵



極楽への祈りが生んだ奇跡

じょうきょうほんたい ままんだら
 貞享本当麻曼荼羅(重要文化財)は、奈良・当麻寺の根本本尊である
 つづれおりたい ままんだら
 綴織当麻曼荼羅(国宝、8世紀)の最も精密で色鮮やかな同大の写し
 で、江戸時代の貞享3年(1686)に完成しました。本展では貞享本の
 本格修理が完成したのを記念し、修理に伴い新たに発見された資料
 とともに、およそ4メートル四方と巨大ながら細部まで美しく描か
 れたその姿をご覧ください。

そして極楽往生を望み、綴織当麻曼荼羅の成立に深く関わったと
 伝承される奈良時代の貴族の娘・中将姫に注目します。女人往生の
 主人公として長く人々に尊ばれ、当麻曼荼羅信仰を支えた中将姫
 イメージの展開に迫ります。

※会期中、一部の作品に展示替えがあります。



稱讃浄土仏授受經（部分）奈良・当麻寺奥院蔵



厨子入中将姫坐像 京都・大雲院蔵

中将姫物語(あらすじ)

奈良時代、貴族の娘として生まれた中将姫は、美しく清らかな心をもつ女性であった。しかし実母の死後、継母に疎まれ、山中で殺害されそうになる。純粋な中将姫は助けられ山中で育つが、偶然父と再会し都に戻る。その後姫は当麻寺で出家。極楽浄土への思いを募らせていると、阿弥陀如来と観音菩薩の化身が現れ、蓮糸で当麻曼荼羅を織りあげ中将姫に極楽の姿を示す。そして中将姫は29歳のとき阿弥陀の来迎を受け無事極楽浄土へ往生する。

観覧料金(税込) ※カッコ内は前売料金です。

一般 1,600(1,400)円

高大生 1,000(800)円

小中生 500(300)円

※前売券の販売は、5月23日(月)～7月15日(金)です。
 ※未就学児および障害者手帳またはミライROID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
 ※本展の観覧券で、同時開催の名品展(なら仏像館・青銅器館)、わくわくびじゅつギャラリー(東新館)もご覧になれます。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は400円、同(教職員)の方は1,500円で当日券をお求めいただけます。観覧券売場にて、学生証または職員証をご提示ください。

公開講座

第1回「貞享本当麻曼荼羅とその周辺」

講師 北澤 菜月(奈良国立博物館学芸部主任研究員)
 日程 8月6日(土)

第2回「中将姫説話の展開」

講師 日沖 敦子氏(文教大学文学部日本語日本文学科准教授)
 日程 8月20日(土)

時間/午後1時30分～3時(午後1時開場) 会場/奈良国立博物館 講堂 定員/各90名(事前申込制)。抽選による座席指定制となります。聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。*詳細は奈良国立博物館公式ホームページにて順次お知らせします。[募集に関する問合せ] 読売新聞大阪本社文化事業部 電話06-6366-1848(平日午前10時～午後5時)

蓮糸織り体験ワークショップ

中将姫の物語に登場する綴織当麻曼荼羅は、蓮から作った糸を織って作られたと伝わりま。ワークショップでは蓮から糸を繰り出す作業を体験するとともに、蓮糸を織り込んだコースターを制作し、お持ち帰りいただけます。

- 日時:7月31日(日) 午前10時30分～、午後2時～の2回
 - 会場:奈良国立博物館 地下回廊
- ※詳細及び申込は奈良国立博物館公式ホームページをご確認ください。

当麻寺特別公開

裏板曼荼羅御開帳
 7月16日(土)～8月28日(日)の全日
 曼荼羅堂の国宝・曼荼羅厨子の裏屏が開扉され、秘仏「裏板曼荼羅」が公開されます。500円(税込)。

国宝「東塔・西塔」初層特別開扉
 7月16日(土)～8月28日(日)の
 毎土・日曜日、及び祝日
 古代の双塔伽藍様式を示す国宝の三重塔(東塔・西塔)を西塔修理完成後初公開します。

奈良仏像けんきゅ一部 中将姫と当麻曼荼羅展編

吉本興業所属の若手芸人が独自の視点から出品作品を解説します。
 ●日時:8月11日(木祝)午後1時～2時30分
 ●会場:奈良国立博物館 講堂
 ●出演:笑福亭笑利、エナジー-西手(十手リンジ)ほか
 ●料金:一般1,500円(税込) 保護者同伴で高校生以下無料
 ※展覧会の観覧料金は含まれません。定員:90名
 ※詳細は奈良国立博物館公式ホームページでお知らせします。

アクリルキーホルダー付きチケット

曼荼羅に登場する化生童子の、ちょっと「シュールな」イラストがキーホルダーに!

料金:1,800円(税込)
 販売期間:5月23日(月)～7月15日(金)
 販売場所:ローソンチケット



化生(けしやう)童子

貞享本当麻曼荼羅の蓮池の中などに見える、赤子のような姿の子もたち。往生者が、極楽浄土に生まれてきたときの姿だと言われています。

※数量限定での販売となります。※会場販売価格660円(税込)。ただし、本チケットが完売の場合、会場での販売はありません。*詳細は奈良国立博物館公式ホームページをご確認ください。



〒630-8213 奈良市登大路町50番地
 奈良国立博物館公式ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>
 ○近鉄奈良駅下車 登大路を東へ徒歩約15分 ○JR奈良駅または近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」バス停下車すぐ

@cyujohimeten22